

第1学年 国語科学習指導案

令和5年12月7日(木)

第1学年1組 23名

研究主題

「主体的に学び合い、豊かに表現する児童の育成」 ～国語科指導の改善を目指して～

1 単元名 「ともだちしょうかいカードをつくろう」

2 教材名 「ともだちのこと、しらせよう」(光村図書1年)

3 単元の目標

○身近なことを表す語句を増やし、語や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語句を豊かにすることができる。〔知識及び技能(1)オ〕

◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。〔思考力、判断力、表現力A(1)エ〕

○質問して分かったことを語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き方を工夫している。〔思考力、判断力、表現力A(1)オ〕

○紹介文を書くことに興味をもち、質問を通して友達との言葉のやり取りを楽しんだり、進んで文章を書いたりすることができる。〔主体的に学習に取り組む態度〕

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①インタビューして分かったことや思ったことを「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうしたか」「理由」「方法」など、表現するための適切な言葉を探して話したり書いたりしている。	①身近なことや経験したことなどから「今、一番楽しいこと」を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ②話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ③助詞や文末に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き方を工夫している。 ④文章に対する感想を伝え合い、自分や友達の文章の内容や表現のよいところを見付けている。	①「友達紹介カードをつくる」という見通しをもち、進んで友達に質問したり、分かったことをメモに残したり、友達についての紹介文を書こうとしたりしている。

5 単元について

(1) 教材観

「話すこと・聞くこと」と「書くこと」を関連させた複合単元である。友達という題材は、児童にとって相対化しながら自己認識を深めていく題材であり、教科を超えて仲間づくりにもつながると考える。「ともだちしょうかいカードつくろう」という言語活動を設定することで、友達の楽しいことについて詳しく取材し、他の学級の皆に紹介するという相手意識と目的意識を明確にして、学習の見通しをもたせる。

(2) 児童観

初めて文章を書いたのは、アサガオの観察カードで、色、形、大きさ、などの視点を与えて書いた。その後、体育学習発表会の絵日記、好きなものとその理由、など3～4文程度の文章を書いてきた。しかし、夏休み前に指導した読書感想文（800字程度）は、子供にとってはハードルが高く、最後まで書くことが難しかった。そこで、夏休み明け、日直に校長先生からのメッセージをミニホワイトボードにメモしたり、写真や教科書の挿絵から想像した言葉を吹き出しに書いたり、夕飯に食べたいものなど短い言葉を書く活動を取り入れた。すると、「またやりたい。」と書くことに興味をもつ児童が増えた。授業や係活動でのグループでの話し合いと時には、折り紙を出してメモしたり、自由帳にメモしたりする児童が出てきて、それを褒めるとメモを取る児童が増えた。

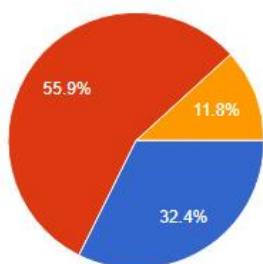
また、読書が好きで、雨の日はほとんどの児童が図書室へ足を運ぶ。特に、最強王図鑑やバトル図鑑、比べる図鑑は人気で、文章を読むことが苦手な児童もイラストから内容を理解しているようだ。そこで、図鑑に載っているレーダーチャートを入れると書くことに興味をもつと考えた。テーマは「好きなこと」で、①しょくじ②うんどう③どくしょ④べんきょう⑤ゲーム・テレビの5項目で作る。

こくごですきなことはなんですか

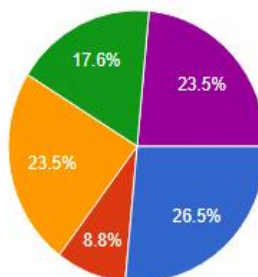
34件の回答

こくごのべんきょうは好きですか

34件の回答



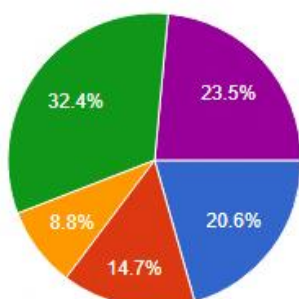
● 好き
● ふつう
● きらい



● おはなしをよむこと
● はなすこと
● はなしをきくこと
● ぶんをかくこと
●好きなことはない

もっとできるようになりたいことはありますか

34件の回答



● おはなしをよむこと
● はなすこと
● はなしをきくこと
● ぶんをかくこと
● ない

(3) 指導観

「話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさずに集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ」を主たる目標として学習をすすめる。話し手が自分に知らせたいことは何かと考えながら聞く力、自分にとって知りたいことを明確にして落とさずに聞く力を身に付けさせたい。そのために、聞く力や質問の仕方を学習させる。

聞き手は、話を受けながら内容を理解し、さらに詳しく知るための質問を考えることが必要になる。「いつ」「どこで」などの5W1Hを意識して聞くことで、より詳しくなることに気付かせる。また、書くことによって、伝えたいことが整理され、明確になる。書いたものを読み合い、書き手の思いに対して感想をもつことを大切にする。

話し手は、「今、一番楽しいこと」を学校生活や家庭生活から選び、「いつ」「何が」「理由」など伝える順番を考え、文章に整理するために話し方の学習をする。そして、質問から聞き手が求めている答えを考え、答える。両者とも相手のことを考え、大切なことを落とさずに聞いたり話したりすることが求められる。本単元で学習したことが、他教科の児童同士の伝え合いの場で生かされるようにする。

6 研究主題にせまるための手だて

(1) 主体的に学び向かうための手だて

- ① 「今、一番楽しいこと」の映像や写真をタブレットPCで撮って保存しておく。言葉だけでなく、視覚的に訴えるものがあると話しても興味をもって聞くことができるようにする。
- ② 段落ごとにまとまった枠のあるワークシートを使い、自信をもって書く活動ができるようにする。
- ③ 2年生のお手本インタビュー動画を見ることで、自分もやってみたい、成功させたいという意欲をもたせる。

(2) 対話的、協働的な学びを生むための手だて

- ① 9月から朝の会・帰りの会・クラスタイムの時間に、話し方、聞き方の掲示物を活用したスピーチ活動を行う。体験を多くもつことで話すことへの抵抗感をなくしていく。
- ② 「いつ」「どこで」「だれが」「どのように」「どうして」等の項目を提示し、そこから選んで質問できるようにする。質問の答えをしつもんカードに書くことで、大事な内容を落とさずに聞き、書く活動へとつなげる。

(3) 多面的・多角的な評価

- ① 書いたものを読み合い、良いところを見付けたり感想を伝え合ったりすることで相互評価する。
- ② 学習計画表に沿って、自己評価をすることで、自分の成長を実感し、また次時への意欲へとつなげられるようにする。また、振り返りに対して即時評価することで、児童の理解度を確認するとともに、次時以降の指導に生かしていく。

7 育てたい学びのすがた

主体的な学び	・「ともだちしょうかいカード」を作りたいという意欲をもち、インタビュー活動や紹介文を書く。
対話的な学び	・態度、しぐさ、表情を意識して話したり聞いたりする。 ・よりよい文章になるように意見を伝え合い、文章を直す。
深い学び	・友達の文章と比較しながら、表現のよさを見付けて、感想をもつ。

8 学習指導計画（全7時間）

	時	学習内容	評価規準
第一次	1	<p>○単元の学習課題を知り、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の紹介文を提示し、単元のゴールを確かめる。 ・友達について分かったことを文章にまとめることに関心をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ともだちしょうかいカードをつくろう</div> <p>・自分の「今、一番楽しいこと」を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもち、自分の楽しいことを考えている。【態】（観察・発言）
第二次	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">はなしかためいじんになろう</div> <p>○2つのインタビュー映像を比較し、話し方（質問）の技を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の仕方を整理する。5W1H ・最後にお礼と感想を言うことを伝える。 <p>○楽しいことをインタビューし、上手くできたことと、できなかったことを出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。【思①】（発言・記述）
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ききかためいじんになろう</div> <p>○2つのインタビュー映像を比較し、聞き方の技を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が詳しくなるように、観点にそって質問したり、相手の気持ちを考えながら聞いたりして話をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。【思②】（観察・発言）
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">たのしいことをインタビューしよう</div> <p>○学習したことを生かして、インタビュー活動を行い、分かったことはしつもんカードに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューして分かったことや思ったことを「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうしたか」「理由」「方法」など、表現するための適切な言葉を探して話したり書いたりしている。【知】
	5 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ともだちにきいたことをぶんしょうにかこう。</div> <p>○紹介文の書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル文から内容のまとまりを意識して書くと、読み手に分かりやすい文になることに気付かせる。 <p>○しつもんカードを使って、文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞や文末に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き方を工夫している。【思③】（記述）
	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ともだちしょうかいカードをつくろう</div> <p>○前時で書いた紹介文と絵を入れて紹介カードを完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞や文末に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き方を工夫している。【思③】（記述）
第三次	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ともだちしょうかいカードをよみあおう</div> <p>○互いの紹介カードを読み合い、感想を交流する。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。【思④】

9 本 時 (全 7 時間中の 5 時間目)

(1) 本時の目標

質問したことをもとに、友達のことを知らせる文章を書くことができる。

(2) 展 開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	●指導上の留意点 ☆評価
つかむ 2分	○前時のふりかえりをする。 ○本時のめあてを確認する。	ともだちにきいたことをぶんしょうにかこう。
進める 20分	○教科書の例文を基に、文章の書き方を知る。 ・段落ごとにまとまりを作って書く。 ・「はじめ」の段落は何が楽しいのかを書く。 ・「なか」の段落は、インタビューで分かったことを2つ、3つ選んで書く。 ・「おわり」の段落は、聞き手の思いや感想を書く。 ○質問したことを基に、友達に知らせたい文章を書く。 ○ <u>スパイタイム</u> ①2分 → <u>いただきタイム</u> に変更 立ち歩いて友達の文章を読み、参考にしても良いことにする。	●最初に全体を示し、最後に感想を述べる文章の型をおさえる。 内容ごとにまとまりがあることに気付かせる。 ●しつもんカードを見ながら、まとまりごとにワークテストに書かせる。
確かめる 10分	○インタビューした友達と書いたものを交換し、「段落ごとにまとまりを作って書いているか。」「伝わる内容になっているか」を確かめる。	
深める 10分	○友達の意見を受けて、文を直したり追加したりする。 ○いただきタイム②2分	☆助詞や文末に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き方を工夫している。【思③】(記述)
振り返る 3分	○本時の学習の振り返りをする。 ○次時の学習内容を確認する。	

10 板書計画

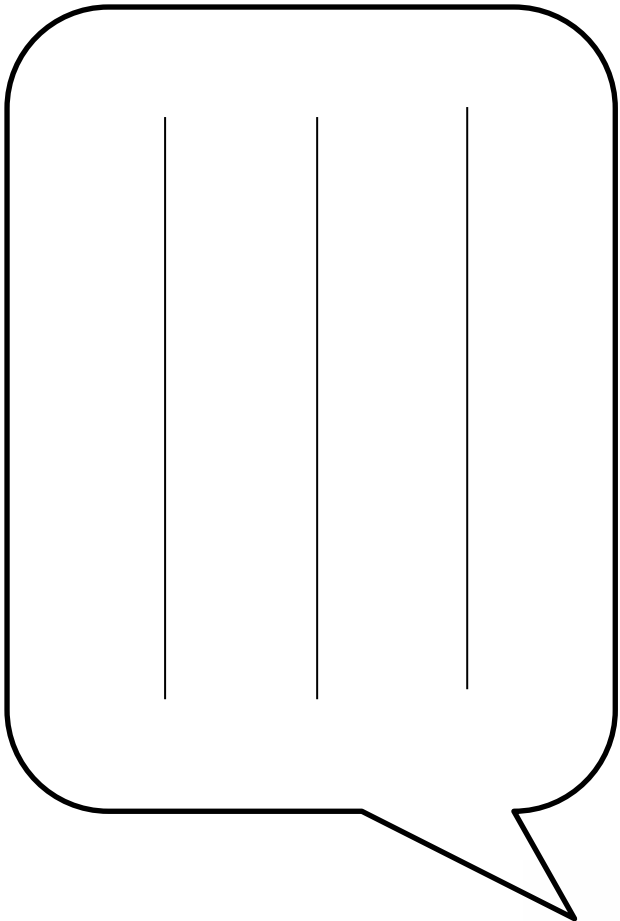
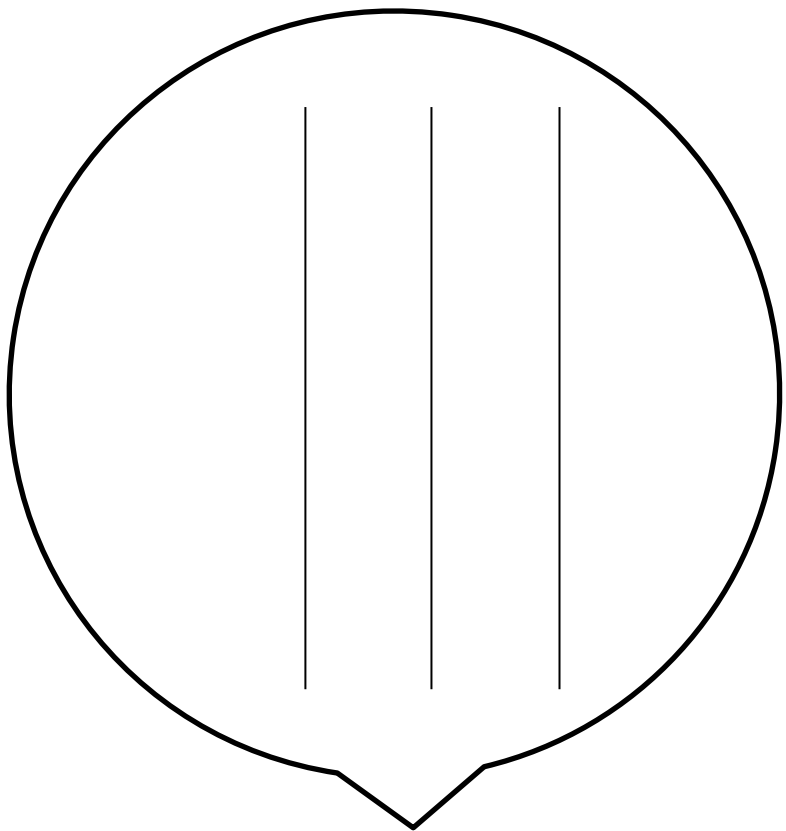
<p>ともだちしようかいカードをつくらう</p> <p>④ともだちにきいたことをぶんしょうにかこう。</p> <p>〈かきかた〉</p> <p>「はじめ」ともだちがいちばんたのしいこと</p> <p>「なか」 きいて、わかったこと</p> <p>「おわり」じぶんがおもったこと</p> <p>〈気をつけること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりごとにだんらくをつくる。 ・「です」「ます」をつかう。 ・ぶんのおわりにまるをつける。 ・ていねいな字でかく。

ともだちにきいたことをかこう

なまえ)



「いま、いちばんたのしいことは、なんですか。」



だいめい

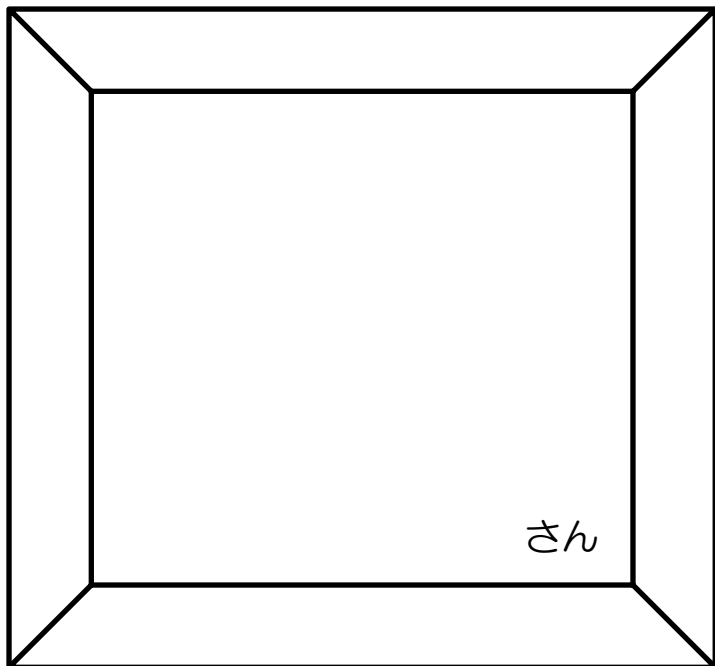
なまえ

ともだちがいちばんたのしいこと

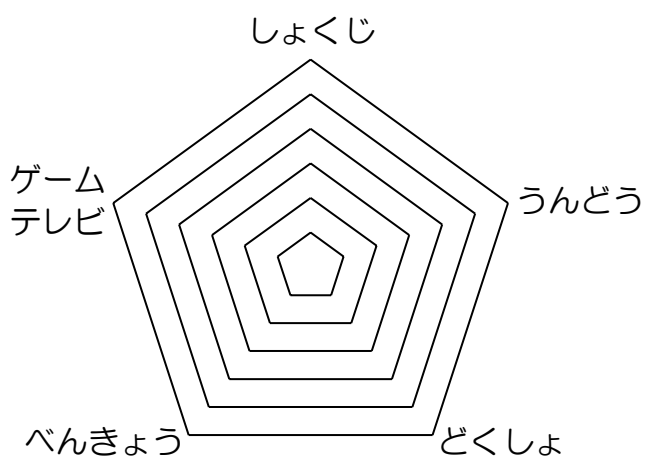
きいて、わかったこと

じぶんがおもったこと





すきなことレーダー



より